

令和7年度 千葉市立大宮中学校 学校評価アンケート

\* 4 点満点  
数が大きいほど評価が高い  
中央値は2.5点

			生徒			保護者			教職員		
			R5	R6	R7	R5	R6	R7	R5	R6	R7
目指す生徒像	1	大宮中の生徒は、夢をもち、それを達成するために努力をしている。	*	*	2.9	*	*	2.9	*	*	2.9
	2	大宮中の生徒は、自ら考え、正しい判断ができています。	*	*	3.0	*	*	3.1	*	*	2.8
	3	大宮中の生徒は、他の人の気持ちや立場を思いやり、協力し合っている。	*	*	3.4	*	*	3.4	*	*	3.1
学校生活全体	4	大宮中の生徒は、楽しく学校生活を送れている。	*	*	3.5	*	*	3.3	*	*	3.1
	5	大宮中の生徒には、困ったときに相談できる人がいる。	3.2	3.1	3.4	3.1	3.0	3.5	3.1	2.8	3.4
	6	大宮中の生徒は、あいさつをしっかりとっている。	3.6	3.6	3.4	3.3	3.3	3.5	2.9	3.0	3.0
授業・学習・行事・部活動	7	大宮中の生徒は、授業の内容を理解し、基礎基本が定着している。	3.1	3.0	3.0	2.8	2.8	2.7	2.7	2.6	2.3
	8	大宮中の生徒は、目標をもって進んで学習に取り組んでいる。	*	*	3.2	*	*	2.6	*	*	2.5
	9	大宮中の生徒は、学校行事や部活動に意欲的に取り組み、達成感や充実感を得ている。	*	*	3.3	*	*	3.2	*	*	3.2
教育環境・特色	10	学校は、生徒の健康や安全のための教育や環境整備ができています。	*	*	3.5	*	*	3.1	*	*	3.3
	11	学校は、教科授業だけでなく、様々な体験活動や交流活動を行うなど、特色ある教育活動を充実させている。	*	*	3.2	*	*	2.7	*	*	2.9
生徒指導	12	学校は、生徒を見守り、教育相談やアンケートを行うなど、いじめの未然防止、早期発見に努めている。	3.5	3.2	3.4	3.2	2.7	3.1	3.7	3.0	3.4
	13	学校は、生徒自ら学校生活を見直し、向上していけるような生徒会活動を行っている。	*	*	3.2	*	*	2.9	*	*	3.0
	14	学校は、いじめが起きた時に、家庭と連携しながら、いじめの解決に向けて取り組んでいる。	3.4	3.2	3.3	3.2	2.9	3.0	3.7	3.0	3.4
その他	15	教職員は、工夫してわかる授業や生徒の指導を行っている。	3.6	3.3	3.4	3.1	2.9	2.7	3.2	3.2	3.0
	16	教職員は、生徒のそばにつき、関わりを大切にしながら信頼関係を築いている。	*	*	3.5	*	*	3.0	*	*	3.3
	17	教職員は、チームワーク良く、生徒のために励んでいる。	*	*	3.4	*	*	2.8	*	*	3.3
	18	学校は、地域と協力しながら、共に生徒を育てている。	3.4	3.5	3.2	3.4	3.3	2.8	3.6	3.0	3.0
	19	学校は、お便りや「すぐー」を通して、学校の情報を家庭や地域に伝えている。	*	3.6	3.6	3.7	3.6	3.3	3.7	3.4	3.8

※R7年度に評価項目の大幅な見直しを図ったため、経年変化が見取れない項目があります。（\*）  
※R4～R6の欄に数値が入っている項目は、R4～R6の評価項目とR7の評価項目が比較的似ているものです。

＜考察＞  
『大宮中の生徒には、困ったときに相談できる人がいる』（項目5）や『学校は、生徒を見守り、教育相談アンケートを行うなど、いじめの未然防止、早期発見に努めている』（項目12）の数値が向上している傾向にあります。大宮中学校としては、令和8年度以降も、生徒を丁寧に見守ることを意識し、生徒に寄り添いながら、生徒が安心して学校に通うことができるような教育環境を継続して整えていきます。  
一方で『大宮中の生徒は、授業の内容を理解し、基礎基本が定着している』（項目7）や『教職員は工夫してわかる授業や生徒の指導を行っている』（項目15）の数値が低下傾向にあります。第3次千葉市学校教育推進計画に示される柱の1つとして『確かな学力の育成』が挙げられていることにも鑑み、大宮中学校では今後、教職員が研修を重ねて自己の資質能力を向上させ、各教科においてわかる授業を展開して生徒の授業内容のより一層の理解を促し、基礎学力の定着に努めてまいります。  
また、『学校は、地域と協力しながら、ともに生徒を育てている』（項目18）の数値が低下傾向にあります。生徒の健全な育成のためには学校と地域の協力関係は必要不可欠です。生徒にとって安全・安心な学校を作ることができるよう、中学校からの適切な情報発信や丁寧な対話を通して、よりよい協力体制を築いて行きます。  
最後に本校の目指す生徒像に係るアンケート項目である『大宮中の生徒は、夢をもち、それを達成するために努力している』（項目1）の数値が生徒・保護者・教職員とも2.9と比較的低い結果となっています。第3次千葉市学校教育推進計画によると、「将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合」は千葉市全体として減少傾向にあり、全国平均と比較しても低い状況があります。本校においては、前述の学習指導に加え、今後学校行事をより充実させたり、様々な体験活動を取り入れたりする等、教育課程の編成にも工夫を凝らし、生徒が夢や目標をもって学校生活を送ることができるように努めて行きます。